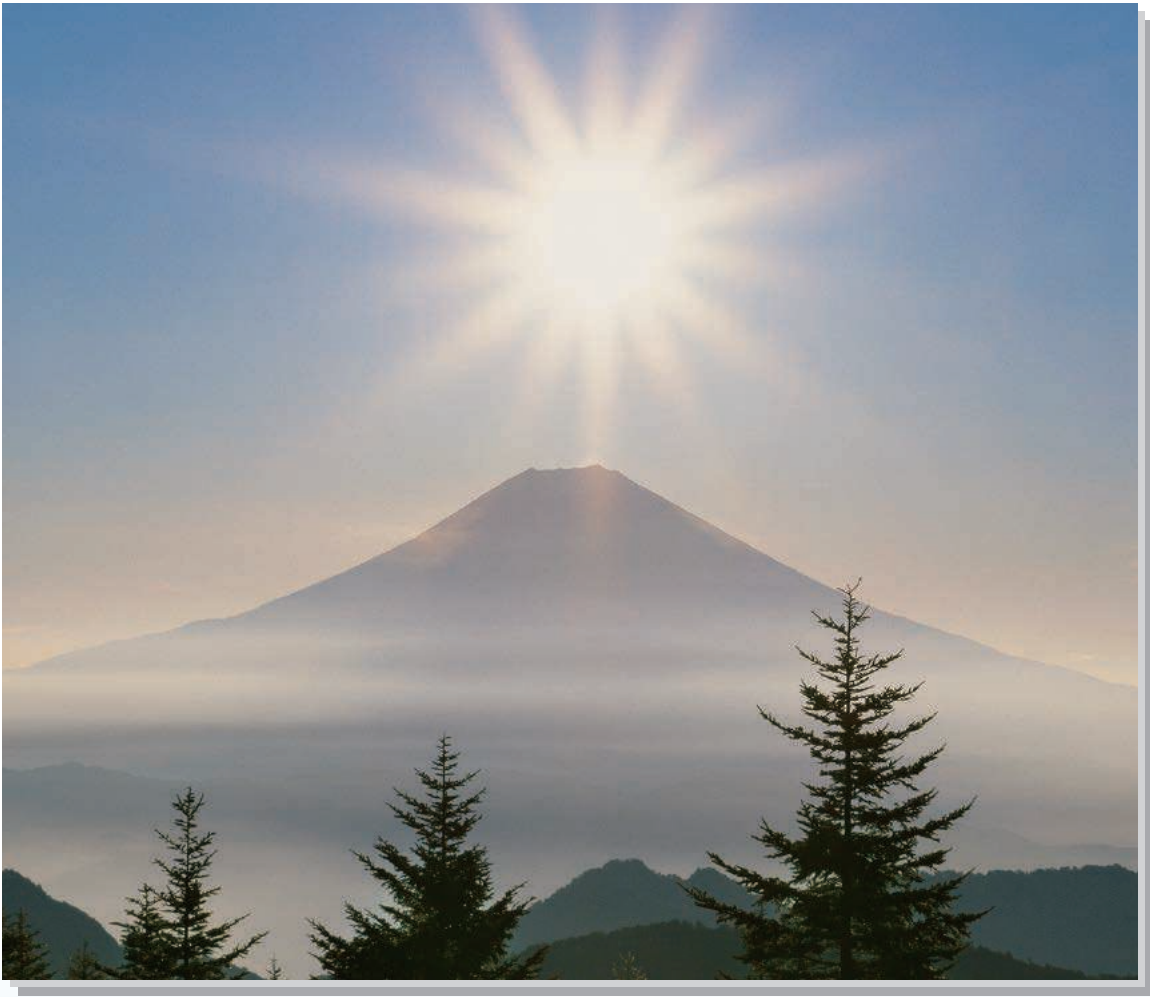


土石防おだより



煌めく光(撮影地:静岡市山伏)

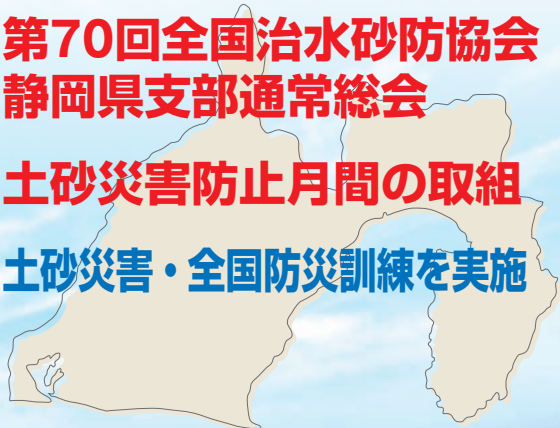
- 静岡県支部通常総会..... 2
- (一社)全国治水砂防協会通常総会..... 3
- 土石災害防止月間の取組..... 4
 - 急傾斜地パトロールの実施
 - みんなで防ごう土石災害(土石災害防止説明会)
- 平成26年度砂防関係事業の代表的な完成箇所 6
- 土石災害・全国防災訓練を実施..... 8
- わがまち(小山町・沼津市) 9
- インフォメーション 10
- 募集・お知らせ 12

特集

第70回全国治水砂防協会 静岡県支部通常総会

土石災害防止月間の取組

土石災害・全国防災訓練を実施



全国治水砂防協会静岡県支部

本県の砂防事業の重要性を訴える

静岡県支部通常総会を開催



原田支部長の挨拶

5月26日(火)、全国治水砂防協会静岡県支部の平成27年度(第70回)通常総会を静岡市内で開催しました。

総会では、支部長の原田袋井市長が議事に先立ち、協会が発足した昭和15年2月から数え、節目となる70回目の総会を迎えたことの報告をしました。また、長野県南木曾町梨子沢、広島市北部及び本県の台風18号を中心とした土砂災害や土砂災害防止法改正の要点に触れ、直接住民に避難勧告を呼びかける体制の確認や全危険箇所における防災訓練の実施、会員相互の連携、国・県との協調の必要性を訴えました。

続いて、川勝知事、吉川県議会議長、西山国土交通省砂防計画課長、南全国治水砂防協会技術顧問より御祝辞をいただきました。

この後、議案の審議が行われ、平成26年度の事業報告・収支決算報告、平成27年度の事業計画・収支予算、役員の変更が原案どおり承認されました。滞りなく総会が終了できましたことを、関係各位に感謝申し上げます。



川勝知事の挨拶



西山砂防計画課長の挨拶



南技術顧問の挨拶



吉川県議会議長の挨拶

役員の変更結果

支部総会で役員の変更(案)が承認され、平成27・28年度の役員が決定しました。

支部長：原田英之 袋井市長 **副支部長**：須藤秀忠 富士宮市長、菊地 豊 伊豆市長

会計監査役：村松藤雄 森町長、相馬宏行 河津町長

委員：田辺信宏 静岡市長、鈴木康友 浜松市長、豊岡武士 三島市長、佃 弘巳 伊東市長、
中野弘道 焼津市長、太田長八 東伊豆町長、西原茂樹 牧之原市長、込山正秀 小山町長

顧問：野知泰裕 静岡県交通基盤部長 **常任幹事**：後藤森平 静岡県河川砂防局技監

土砂災害防止講習会が開催される

静岡県支部通常総会終了後、県内直轄事務所長、各市町長及び各土木事務所長等多くの参加者のもと、土砂災害防止講習会を開催しました。

西山国土交通省砂防計画課長には「土砂災害を防ぎ命とくらしを守る」と題し、全国の土砂災害の発生状況とその対応、土砂災害防止法の一部改正の概要などについて講演していただきました。また、南全国治水砂防協会技術顧問には、「土砂災害と国土保全を考える」と題し、土砂災害の基礎知識、災害対策上の課題および今後の取組の方向性などについて講演をしていただきました。



講演会の様子



西山砂防計画課長の講演



南技術顧問の講演

全国治水砂防協会通常総会が開催される

5月28日(木)、(一社)全国治水砂防協会の平成27年度(第79回)通常総会が、会員多数の出席のもと、砂防会館で開催されました。

当日は、静岡県選出国會議員をはじめ多くの国會議員が来賓として御出席されました。当支部からは支部長の原田袋井市長をはじめ10名の会員に御出席いただきました。

綿貫会長による挨拶の後、議案の審議が行われ、平成26年度の事業報告・収支決算報告が承認され、平成27年度の事業計画・収支予算が報告されました。

また、総会開会に先立ち、昨年引き続き、語り部(かたりすと)としてご活躍中の平野啓子氏(静岡県沼津市出身、大阪芸術大学放送学科教授、元NHKキャスター)による「語りと砂防と私」と題した特別講演が行われました。

お忙しい中、御参加いただきました会員の皆様には心からお礼申し上げます。



総会の様子



綿貫会長の挨拶



平野氏の講演

本県の参加市町

袋井市、伊豆市、森町、河津町、西伊豆町、川根本町、
富士宮市、島田市、掛川市、伊豆の国市(計10市町)

※太字は本人参加

平成27年度「土砂災害防止月間」

6月1日(月)～30日(火)

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命や財産が失われています。国土交通省と静岡県では、梅雨前線や台風により雨量が多く、地盤がゆるみ、土砂災害が発生しやすくなる6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害とその防止について県民の皆様への理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行いました。

主な活動

- 急傾斜地パトロールの実施
- 広報活動の推進
- 「みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)」の開催
- 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集及び展示
- 土砂災害防止講習会の開催
- 「土砂災害・全国防災訓練」の実施 など

平成26年に発生した土砂災害件数

H26年土砂災害発生	土石流	地すべり	がけ崩れ	計
全国土砂災害発生件数	338	77	769	1184
静岡県土砂災害発生件数	10	2	63	75



立看板の設置(静岡県庁正面玄関)

～住民と砂防ボランティアとの協働～

1 急傾斜地パトロールの実施

6月1日から6月30日に、県内の急傾斜地崩壊危険区域において、地域住民や砂防ボランティア、土木事務所、危機管理局、市町、警察、消防と協働で、土砂災害防止施設の異状の有無、法面の崩壊、排水路の機能状況などの点検をしました。

施設の破損や小規模な崩壊などの異状が確認された箇所については、早急に改善設置を講じていきます。



急傾斜地パトロールの写真

2 市町における広報活動の取組

各市町では、広報誌やホームページ等を活用して、土砂災害対策の重要性を広報していただくとともに、庁舎の横断幕・懸垂幕の掲示、公用車を活用した啓発活動の実施、土砂災害防止講習会の開催など、土砂災害防止広報活動に取り組んでいただきました。



懸垂幕掲示(西伊豆町役場)



平成27年度 土砂災害防止月間ポスター

の取組

広報誌への掲載	静岡県、静岡市、沼津市、三島市、富士宮市、伊東市、富士市、焼津市、掛川市、藤枝市、下田市、伊豆市、御前崎市、牧之原市、東伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、長泉町、小山町、川根本町
ホームページにおける広報	静岡県、三島市、島田市、藤枝市、伊豆市
横断幕、懸垂幕の掲示	静岡市、浜松市、沼津市、富士宮市、伊東市、磐田市、掛川市、袋井市、下田市、伊豆市、御前崎市、牧之原市、河津町、南伊豆町、西伊豆町、函南町、川根本町、森町
土砂災害防止講習会の開催	沼津市、熱海市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、裾野市、湖西市、伊豆市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、南伊豆町、西伊豆町、森町
ラジオ、テレビ放送	SBSラジオ(静岡県)、FMHaro!(浜松市)、FMラジオ(島田市)
ポスター掲示	県内市町関係機関、県内ファミリーマート約240店舗におけるポスター掲示

3 みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)

6月27日(土)、土砂災害の恐ろしさや砂防事業の重要性を、県民の皆様にご理解いただくため、静岡市葵区の青葉シンボルロードで「みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)」を開催しました。

この行事は、「砂防フェスティバル」として、国土交通省静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡県、静岡市、静岡地方気象台の共催により開催しているもので、土砂災害防止に関するパネル展示などの啓発活動を行いました。



会場の様子



平成26年度

砂防関係事業の代表的な完成箇所

砂防事業

うえのがわ

●上野川溪流保全工（駿東郡小山町上野地先）



上野川では、平成22年9月の豪雨により甚大な被害が生じたため、砂防堰堤1基を高上げた後、溪流保全工の整備を行い、下流域の人家17戸と県道の保全を図りました。

いちめんぼらさわ

●一免原沢砂防堰堤工（静岡市葵区足久保口組地先）



一免原沢では、砂防堰堤1基整備し、下流域の人家22戸と市道の保全を図りました。

ととりさわ

●トトリ沢砂防堰堤工（島田市東光寺地先）



トトリ沢では、砂防堰堤2基整備し、下流域の人家11戸、公会堂と市道の保全を図りました。

みずがやさわ

●水ヶ谷沢砂防堰堤工（浜松市天竜区山東地先）



水ヶ谷沢では、砂防堰堤1基整備し、下流域の人家22戸と市道の保全を図りました。

●平成26年度 砂防事業完成箇所

箇所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
上多賀大川支川	熱海市上多賀	53	H25	溪流保全工 L=196.0m
上野川	駿東郡小山町上野	160	H24	溪流保全工 L=247.3m
一免原沢	静岡市葵区足久保口組	97	H24	砂防堰堤工 H=9.0m、L=52.0m
西山沢	静岡市清水区興津清見寺町	104	H24	砂防堰堤工 H=11.5m、L=37.0m
丸子赤目ヶ谷沢	静岡市駿河区丸子	118	H22	砂防堰堤工 H=8.5m、L=50.0m
トトリ沢	島田市東光寺	233	H21	砂防堰堤工 H=6.0m、L=22.5m H=5.5m、L=23.0m
浜井沢	森町三倉田能	60	H22	溪流保全工 L=100.0m
水ヶ谷沢	浜松市天竜区山東	178	H22	砂防堰堤工 H=10.5m、L=40.0m

急傾斜地崩壊対策事業・地すべり対策事業

あけふしみぞした

●明伏溝下擁壁工 (賀茂郡松崎町明伏地内)



急傾斜地崩壊対策工事として待ち受け擁壁工を実施し、人家7戸の保全を図りました。

あこやまうえのはら

●安居山上ノ原法面工 (富士宮市安居山地内)



急傾斜地崩壊対策工事として法面工を実施し、人家27戸の保全を図りました。

くさなぎふるやしき

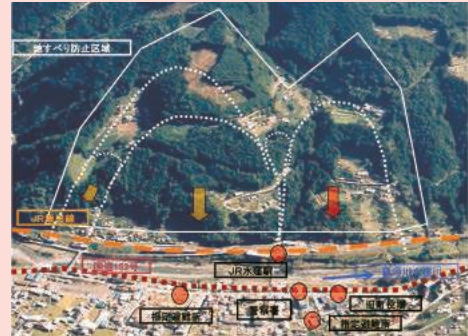
●草薙古屋敷擁壁工 (静岡市清水区草薙地内)



急傾斜地崩壊対策工事として待ち受け擁壁工を実施し、人家7戸の保全を図りました。

むこうじま

●向島地すべり (浜松市天竜区水窪町地頭方地内)



地すべり対策事業を平成11年度から実施し、人家372戸、指定避難所、警察署、国道152号、一級河川水窪川及びJR飯田線の保全を図りました。

●急傾斜地崩壊対策事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
明伏溝下	賀茂郡松崎町明伏	138	H21	擁壁工 L=127m
上沢大洞	田方郡函南町上沢	193	H22	擁壁工 L=215m
守木山田A	伊豆の国市守木	202	H23	擁壁工 L=248m
安居山上ノ原	富士宮市安居山	162	H22	法枠工 L=300m、擁壁工 L=20m
草薙古屋敷	静岡市清水区草薙	101	H24	擁壁工 L=95m
羽鳥平ノ段	静岡市葵区羽鳥	129	H23	擁壁工 L=159m
飯間山根	静岡市葵区飯間	209	H20	擁壁工 L=223m
堀之内塩ヶ原	藤枝市堀之内	185	H22	擁壁工 L=203m
下泉寺東	榛原郡川根本町下泉	217	H20	擁壁工 L=359m
菅ヶ谷谷川	牧之原市菅ヶ谷	165	H22	擁壁工 L=226m
段平尾	菊川市下内田	215	H21	擁壁工 L=215m
柳瀬	浜松市天竜区水窪町奥領家	296	H17	擁壁工 L=210m、法面工 L=70m
都田尾高	浜松市北区都田町	168	H15	擁壁工 L=125m、法面工 L=48m
古奈 No.2	伊豆の国市古奈	110	H21	法面工 L=29.6m
千枚原	三島市徳倉	64	H24	法面工 A=520m ²

※平成26年度に工事を実施し、完成した箇所が対象

●地すべり対策事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
橘	周智郡森町橘	121	H17	集水ボーリング工850m、水路工312.5m
向島	浜松市天竜区水窪町地頭方	608	H11	集水井工3基、集水ボーリング工3982m、横ボーリング工7群

土砂災害・ 全国防災訓練を実施



浜松市(図上訓練)

～「早めの避難」家族を守る合い言葉～

6月7日(日)、県下一斉に「土砂災害・全国防災訓練」を実施しました。

この訓練は、梅雨前線等豪雨の影響による土砂災害の発生に備え、災害に対する警戒避難体制の確認と防災意識の高揚を図ることを目的に、毎年、全国統一実施日を中心に全国の市町村で実施しています。

本県では、統一実施日に25市町で地元地域住民や行政関係者など約21,500人が参加し、避難勧告に伴う避難所への避難訓練や情報伝達訓練、ハザードマップの作成、土砂災害に関する講習会などを実施しました。

また、6月7日以外の日には、8市町で訓練を実施しました。

訓練参加市町

浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、吉田町、川根本町、森町(計33市町)

訓練の状況



避難所への避難状況
(富士市大中里地区 6月7日)



警察による避難誘導
(熱海市小山地区 6月7日)



避難経路の確認
(袋井市菩提地区 5月31日)



災害対策本部設置状況
(御殿場市大坂地区 6月7日)



避難所参集の様子
(三島市徳倉第4地区 6月7日)



自衛隊等による応急訓練
(小山町第一地区 6月7日)



防災備品確認
(清水町上徳倉地区 5月24日)



災害対策本部設置状況
(焼津市 6月7日)



講習会の様子
(島田市北五利地区 6月7日)



手作りハザードマップの作成
(川根本町壱町河内地区 6月7日)



避難行動要支援者搬送訓練
(磐田市大藤地区 6月7日)



手作りハザードマップの作成
(下田市北湯ヶ野地区 6月7日)

小山町

建設課

小山町は静岡県の北東端に位置し、東を神奈川県に、北西を山梨県に接している県境の町で、町の北西端は富士山頂に達し、富士山を頂点とした富士外輪状の三国山系と、北東方は丹沢山地、東南方は箱根外輪山に囲まれた東西に長く伸びた町です。

面積は135.74㎡で、市街地・農耕地は海拔300m～800mの緩傾斜地帯にあります。

河川は源を富士・箱根山麓に発する鮎沢川が馬伏川、須川、野沢川を合して東に流れ、酒匂川になって相模湾にそそいでいます。



「金太郎夏まつり恒例のおやまDEどんぶらこ」

町の大きなイベントとして毎年、金太郎春まつり・夏まつりが開催され、特に夏まつりでは、鮎沢川を利用した「おやまDEどんぶらこ」は、町内外からの多くの参加者で賑わいをみせています。

また本町は、平成24年8月に町制施行100周年を迎えました。平成25年度からは、次の100年へ向け、「内陸のフロンティアを拓く取組」の重点プロジェクトである三来拠点事業①新東名（仮称）小山パーキングエリア周辺地区地域産業集積事業、②湯船原地区産業拠点整備事業、③足柄サービスエリア周辺地区広域都市交流拠点土地利用事業を中心に新たなスタートをきりました。

さらに、平成22年9月の台風被害による「局地激甚災害」の復旧工事が国及び静岡県などの関係機関のご支援とご協力をいただき、平成25年度末に完了しました。今後も防災面においては「誰もが安全・安心のまちづくり」を進めてまいりますので、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。



「野沢川に架かる下野沢橋復旧の様子」



「工事完遂と災害の完全復旧の意義をとどめた記念碑」(H27.1.28)

沼津市

河川課

伊豆半島の付け根に位置する沼津市は、愛鷹山、さらに香貫山から連なる沼津アルプスを背にし、駿河湾に面する約63kmの海岸線を有する海・山・川の自然に恵まれた都市で約20万人が暮らしています。

ハイキングスポットとして人気の香貫山は、標高193mの山で展望台から市街地と富士山、そして遠くは南アルプスを一望でき、中腹の五重塔がシンボルとなっています。

沼津港は駿河湾に生息する豊富な魚介類が水揚げされていますが、中でもあじのひものは江戸時代末期から明治の初期にかけて作られはじめ、全国一の生産量を誇る沼津の代表的な特産品です。周辺施設には、



香貫山からの沼津市街地風景

日本最大級の大型展望水門「びゅうお」や、せりの見学ができる沼津魚市場「INO」、水揚げされたばかりの新鮮な魚介類が楽しめる沼津港飲食店街、沼津みなと新鮮館、日本で初の沼津港深海水族館など整備が進んでおり多くの観光客で賑わっています。

市内を流れる狩野川は、伊豆の中心天城山を始点として北流する日本でも珍しい水流で、口野にある狩野川放水路は今年50周年を迎えます。また中心地街で行われる最大のイベントである狩野川花火大会が7月末に行われますのでぜひお越しください。



大型展望水門「びゅうお」

平成27年度(公社)日本地すべり学会中部支部総会及び講演会が開催される

4月24日(金)、(公社)日本地すべり学会中部支部総会が、ホテル国際21(長野県長野市)で開催されました。議事では、平成26年度の事業報告・決算報告と平成27年度の事業計画・予算(案)が承認され、10月1～2日で計画されている門島地すべり(浜松市天竜区春野)の現地見学会・討論会の紹介がありました。

総会に続く講演会では、信州大学教授の平松晋也支部長による「森林に期待される土砂災害抑制機能とその限界」と題した講演が行われました。



平松支部長の講演

大内グリーンベルトモデル地区で恒例の「タケノコ掘り」イベントが開催される

4月26日(日)、地元の小学生たちを対象に恒例のタケノコ掘りが、大内グリーンベルトモデル地区内の杉谷津沢(静岡市清水区)で開催されました。

このタケノコ掘りは、竹林の増殖を抑制し、健全な法面を保持する大切な作業であり、子供たちの貴重な体験学習になることから、「森と水辺を育てる会」の主催により行われています。

この日は、地元の高部小学校、高部東小学校の親子も含め約120名が参加し、「育てる会」の指導のもと行われました。

子供たちは、1年を通して学びながら里山の維持管理などに取り組んでいきます。



砂防堰堤前の全体説明



タケノコ掘りの様子

環富士山火山防災連絡会総会が開催される

5月29日(金)、富士山周辺の静岡県・山梨県の15の市町村による「環富士山火山防災連絡会」総会が、フジエポックホール(山梨県鳴沢村)で開催されました。

総会では、平成26年度事業報告、平成27年度事業計画が承認されるとともに、役員交代があり、会長に鳴沢村長、副会長が小山町長が選出されました。

その後、静岡大学防災総合センターの小山真人教授による「富士山の噴火特性を考慮した登山者・旅行者対策」の演題で研修会が行われました。



総会の様子

国土交通省直轄砂防事務所・県砂防課合同打合せを開催

5月21日(木)、「国土交通省直轄砂防事務所・県砂防課合同打合せ」を、あざれあ(静岡市)で開催しました。合同打合せは、県内の直轄砂防事務所である静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所と県砂防課が、当年度の事業の予定、取組の紹介や連絡事項等を情報共有し、各機関の円滑な事業実施を目的に開催しております。

今回の合同打合せでは、静岡河川事務所から有東木地区夢プロジェクトの取組についての紹介もありました。



打合せの様子

「第8回親子で大谷崩れのもりづくり」イベントが開催される

5月23日(土)、「いのち森づくり少年団を支援する会」が主催する「第8回親子で大谷崩れのもりづくり」が、大谷崩(静岡市)で開催されました。

当日は、静岡市在住の方々や県立富岳館高校の生徒など約70名が参加され、現地の自生種であるヤシャブシやヤマハノキの苗木を入れた再生紙鉢を山腹に植樹しました。

大谷崩は、鳶山崩れ(富山県)と稗田山崩れ(長野県)とともに日本三大崩れの一つに数えられる安倍川上流の大崩壊地で、国土交通省静岡河川事務所により床固工や山腹工等の直轄砂防事業が進められております。



植樹作業の状況



集合写真

平成27年度(第33回)土砂災害防止「全国の集い」in山形が開催される

6月4日(木)～5日(金)、平成27年度(第33回)土砂災害防止「全国の集い」及び現地研修会が、山形テルサ(山形県山形市)等で開催されました。

パネルディスカッションでは、山形県における土砂災害経験者等がパネリストになり、「土砂災害から命を守るために考えよう」と題して、平成26年度広島県で発生した土砂災害での被害についてや改正土砂災害防止法のポイント、ハード事業とソフト事業の役割分担について、活発な意見交換が行われました。

また、現地研修会では平成24年4月に地すべり災害が発生した、大蔵村肘折地区において、災害の概要とその際の実施された警戒監視体制、現在の復旧状況について説明が行われました。



肘折地区の災害の概要等の説明

海外研修員(アルメニア・スリランカ)の現地研修会を開催

平成27年4月23日(木)、静岡県が地すべり対策事業を実施している現場で、独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施する、国別研修(アルメニア:6名、スリランカ:5名、計11名)の現地研修を行いました。

砂防課と島田土木事務所の職員が「ウスイ坂南(藤枝市)」で地すべり対策工(横ボーリング工、排水路工)の説明を行うと、横ボーリング工の構造や地すべりの調査解析、点検や維持管理等、様々な質疑が行われ、熱心に研修に取り組んでいただきました。

その他、「下沖田急傾斜地(藤枝市)」、「丸子逆川(静岡市)」、「地震防災センター(静岡市)」で、当県が取り組む土砂災害や地震・津波対策を紹介しました。



ウスイ坂南の現地研修会の状況

警戒避難体制の説明会を開催

5月に土木事務所、危機管理局の職員、および市町職員を対象に、土砂災害に対する警戒避難体制の説明会を開催しました。

説明会では、県砂防課より今年1月に改正された土砂災害防止法に関する事項として、土砂災害警戒区域等の指定や警戒避難体制の充実・強化、土砂災害防災訓練の実施等について説明を行いました。また、中部地方整備局から土砂災害発生時における県や市町に対する国の支援等、静岡地方気象台から、土砂災害警戒情報に関する説明がされました。



警戒避難体制の説明会

【平成27年度】土砂災害防止啓発用品の紹介

当支部では、土砂災害防止啓発のため、下記の啓発用品を作成・配布しました。御活用いただき、ありがとうございました。



募集・お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も、土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止についての理解と関心を深めるため、絵画・作文を募集します。

【募集対象】小学生・中学生 【応募期間】6月1日～9月15日

【応募方法】作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記してください。

【応募先】〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

静岡県交通基盤部砂防課 砂防班

TEL 054-221-3044 FAX 054-221-3564

詳細は、砂防課ホームページからご覧いただけます。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



ジオフォーラム 2015 IN 静岡

【日時】平成27年10月23日(金) 9:30～17:00

【会場】グランシップ

※全国治水砂防協会静岡県支部が協賛しています。

参加
無料

平成27年 8-12 砂防関係の 主な行事

8月27日(木)～29日(土) 市町長等砂防事業県外視察(鹿児島県)

9月 1日(火) 防災の日

10月 1日(木)～ 2日(金) (公社)日本地すべり学会中部支部現地見学会・討論会(静岡県浜松市門島地区)

10月29日(木)～30日(金) 全国治水砂防協会理事・顧問会議

11月 上旬 市町等砂防担当職員研修

11月16日(月) 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議

11月26日(木) 全国治水砂防促進大会(砂防会館)

11月26日(木) 静岡県支部砂防関係事業促進要望(議員会館等)



【表紙写真】

煌めく光 (撮影地:静岡市山伏)
寺田 悦久さん (静岡県磐田市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様の御協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集・後記

今年も「みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)」が開催され、暑い中、お子様からお年寄りまで大勢の方に御来場いただきました。

当支部では、「土砂災害に関する絵画・作文」コンクールの入賞作品の展示や土砂災害防止啓発グッズを作成・配布して、土砂災害防止の啓発にお役に立てるよう活動しています。

今後とも当協会への御理解と御協力をよろしく願います。

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>